

【着任のご挨拶】

看護部長 佐藤 圭子



新年おめでとうございます。2021年4月より看護部長として着任致しました佐藤圭子と申します。看護師として約20年間、救急業務を含む重症集中ケア部門、病棟・外来部門、地域の医院での業務、と様々な現場で看護経験を積んだ後、看護短大で9年間、臨床実習指導を中心に教員としての仕事を行い現在に至っております。今回は、着任から現在までの振り返りと、これからつくっていききたい看護部についてお話をさせて頂きたいと思います。

当院は脳神経外科疾患を専門に、急性期の治療からご自宅へ帰られるまで、一貫した治療・リハビリテーションが行えるシステムになっています。特に今年度は在宅復帰率の向上を目的に、急性期チームでは入院早期からの介入の見直し、回復期チームでは患者さんが抱えている退院までの目標や想いを維持・向上できるような介入を目指してきました。さらに、通所リハビリや訪問看護も行っていることから、在宅チームとも連携をとり介護度別に退院後の社会資源を活用したケアプランの作成にも取り組んでおります。脳神経外科の専門病院において、回復期リハビリを経て在宅まで、患者さん一人ひとりと長くお付き合いでき、青樹会憲章でもあります「すべては患者さんとともに」歩んでいけることが強みと考え、多職種間の連携を強化してきました。こういった中で看護師は、舵取りともいえる立場にあると感じています。今後もさらに地域に根ざした病院であり続け、患者さんの顔が見える位置で、信頼関係の更なる構築ができることを目指していききたいと思います。

さて、私が当院で行っていきたい看護のお話をさせていただきます。

今回、看護部が目指している方向性をより詳細に掲げ、看護師皆が同じ方向を向きながら行動でき、看護の質の向上が図れることを目標としています。イメージとして、今ある看護理念を「ミッション」とし、三角形の頂点周囲の部分に位置付けます。その下の中間地点には将来像としての「ビジョン」を掲げ、更にその下の基底部分には行動指針としての「バリュー」を設けます（図1参照）。これは、それぞれの頭文字をとって「MVV」と言い看護における羅針盤のようなものです。

より具体的でかつ評価がしやすい「バリュー（行動指針）」を打ち出し、病棟毎の目標、更には個人の年間目標を明記し、そこに向かって各自が進んでいくことで、個の成長を目指し、結果的に看護部全体の質の向上を図ることがねらいです。実際、新人看護

師をはじめ様々な経験値のあるスタッフが共働しています。看護師一人ひとりの考え・経験に基づく知恵と行動力を尊重した看護管理ができるよう、羅針盤を掲げながら個々の看護師がやりがいのある、魅力あふれる職場作りを目指したいです。

私は、これまで多くの方の支えや教えを頂き歩んできました。看護部長職という恵まれた場所に立たせて頂いたことを感謝し、微力ではありますがスタッフともに前進していきたいと思っております。

最後に、看護師免許取得から変わらず抱いてきた私の信念を紹介させていただきます。 【品のある看護ができるヒトであり続けたい】

今後ともよろしくお願い致します。

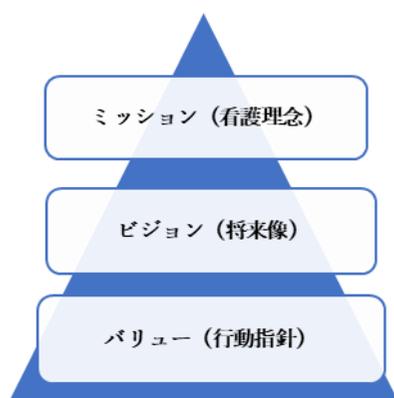


図1 【看護課におけるM・V・V】
(ミッション・ビジョン・バリュー)